

＜別紙2＞ 平成30年度「大木会 青山塾」講師陣

(A、B 講義予定順)

<p>＜Aコース＞4～6月</p> <p>蒲生 俊宏 (がもう としひろ)</p>	<p>日本社会事業大学社会福祉学部教授 ＜学歴＞筑波大学大学院博士課程心身障害学研究科中途退学 ＜学位＞修士（心身障害学） ＜職歴＞国立秩父学園指導課 ＜社会的活動＞社会福祉法人皆成会理事・評議員、社会福祉法人清瀬わかば会理事・評議員、社会福祉法人大木会評議員など ＜研究テーマ＞「精神薄弱」施設における生活と教育の展開 ＜著作等＞「解説」《復刻版 愛護》2006 不二出版、「知的障害福祉の文化を今後の福祉教育に繋ぐー糸賀一雄生誕100年に向けてー」2015、日本社会事業大学社会事業研究所など。</p>
<p>＜Aコース＞7～9月</p> <p>富永 健太郎 (とみなが けんたろう)</p>	<p>日本社会事業大学社会福祉部 助教 ＜学歴＞筑波大学大学院博士課程哲学・思想研究科単位取得満期退学、日本社会事業大学大学院社会福祉学研究科博士前期課程修了 ＜学位＞修士（文学）、修士（社会福祉学） ＜職歴＞社会福祉法人紫野の会 知的障害者更生施設（現 障害者支援施設）かりいほ ＜社会的活動＞糸賀一雄生誕100年記念事業研究事業部会員、川崎市地域自立支援協議会研修部会部会長、社会福祉法人紫野の会理事・評議員 など 研究テーマ＞非行傾向のある軽度知的障害者処遇の歴史的研究、相談支援従事者養成研究 ＜著作等＞『糸賀一雄 この子らを世の光に』津曲裕次編著『天地を拓く 知的障害福祉を築いた人物伝』日本知的障害者福祉協会 2013、糸賀一雄関係史資料の整理・保存に関する報告「社会事業史研究」第48号社会事業史学会 2015 など。</p>
<p>＜Aコース＞10～11月 ＜Bコース＞ 6月</p> <p>玉村 公二彦 (たまむら くにひこ)</p>	<p>奈良教育大学大学院教授。 ＜経歴＞1956年静岡県生まれ。京都大学大学院教育学研究科博士課程単位取得学修退学（教育学修士）田中昌人先生の京都大学教育学部教育指導講座にて学ぶ。もともと教育史を専攻、障害児教育史を研究（戦前、戦中、戦後）。大学での専門は、障害のある子どもの教育実践の内容・方法をあつかう障害児教育方法学、それを支える教育条件の整備についての比較教育学的検討や障害者権利条約など国際的動向の検討など特別支援教育学へと展開している。 ＜著書＞『障害児の発達理解と教育指導ー〔重症心身障害〕から「軽度発達障害」まで』（三学出版・2005年）、共著書に『オーストラリアにおける「学修困難」への教育的アプローチ』（片岡美穂と共著、文理閣・2006年）、『障害者権利条約と教育』（中村尚子と共著、全国障害者問題研究会出版部・2008年）、『障害を持つ人たちの憲法学習』（橋木佳博と共著、かもがわ出版・1998年など。</p>

<p>《Aコース》12月 《Bコース》8月</p> <p>吉永 太市 (よしなが たいち)</p>	<p>元大木会一麦寮寮長 <経歴>京都学芸大学卒業(現京都教育大学)。京都市内中・小学校講師を勤めた後、(財)大木会研修員となり近江学園勤務、1961年4月一麦寮設立にあたり一麦寮指導員となる。1975年4月から一麦寮寮長。元大木会理事・評議員。編著に「遊戯焼(ゆげやき)ー生の象形ー(一麦寮生の足跡から)」がある。</p>
<p>《Aコース》1～3月</p> <p>遠藤 六朗 (えんどう ろくろう)</p>	<p>元びわこ学院大学教授 元重症心身障害児者療育施設びわこ学園心理判定員 <経歴>京都教育大学特殊教育学科卒業、1969年 びわこ学園就職。1971年心理判定員。学園の開かれた施設の方針のもと滋賀県内の障がい乳幼児の地域療育システムづくり、1990年以降養護学校卒業後の重症心身障がい者の通園づくりと重症心身障がいの地域福祉の構築に関わる。2006年定年退職後、びわこ学院大学。2016年非常勤講師。現在、びわこ学園医療福祉センター野洲で岡崎英彦の資料整理に関わっている。重い障がいのある人たちが「その人」らしく生きることができる《生命と共生の地域ネットワーク》の構築を願っている。</p>
<p>《Bコース》4月</p> <p>糸賀 啓治 (いとが けいじ)</p>	<p>醸造家、食養家、糸賀一雄氏二男 <経歴>1970年新潟大学農学部農芸化学科卒業、長野県味噌工業協同組合連合会を経て、長野味噌株式会社勤務。病気(胃癌第三期)療養後、学習塾を経て、ひかり味噌株式会社で味噌の発酵を指導。現在、味噌一般コンサルタントとして全国各地で指導。食養研究も交えて既に癌を克服、現在、無病息災。「後先を見ず、今を命がけで生きる」を信条に、醸造物自家製造に取り組むかわら最近は桜沢如一著「続・永遠の子供」、M. ガンジー著「ガンジー自伝」、トルストイ著「神の国は爾曹の衷に在り」、マタイ著「山上の説教」の読書や、残された父・糸賀一雄の「日記」を読む。長野県上田市在住。</p>
<p>《Bコース》5月</p> <p>石原 繁野 (いしはら しげの)</p>	<p>元大木会あざみ寮寮長 <経歴>ノートルダム清心女子高校卒業。1956年4月(財)大木会職員(1969年社会福祉法人大木会)。紬・染め・織に一貫して取り組むあざみ織、独自の素材を使う結び織に取り組み、あざみ・もみじの方式を育てた。1998年3月から大木会あざみ寮寮長を退職まで勤める。元大木会理事・評議員。 <著書>「あざみ織」(サンブライ出版)がある。</p>
<p>《Bコース》5月</p> <p>四方 博子 (しかた ひろこ)</p>	<p>彫刻家(作家名:河田博子) <経歴>成安女子短期大学意匠科卒。1964～1967京都市中学校講師(美術)、1968～1973成安女子短期大学実習指導員、2005～2010大阪成蹊大学講師(芸術療法)。 <作家歴>1971～1980行動美術協会会友、1970～京都彫刻家協会会員、第1回彫刻の森美術大賞展、第2回日本青年彫刻家シンポジウム(秋田県)、秋田県大内町彫刻シンポジウム、京都野外彫刻展、京都府新人彫刻展(京都府買上げ)、京都府野外彫刻第30回記念展(京都府買上げ)。 <美術教室等指導歴>1964私立自然幼稚園卒園児美術教室指導(京都)、1974 N児童美術教室共宰(小・中・高生、</p>

	<p>京都)、1975 美育教育協会指導者賞、児童画の国際交流を進める画塾協会 (Tho PASS) 結成会員、1982 四方造形美術教室開設 (小・中校生、不登校児、障害児、京都下鴨・大原)、1985～精神科医と連携、美術指導による不登校・引きこもりの回復、及び進学、社会復帰の実現、1995 創造の森美術教室開設 (小・中校生、障害者、滋賀県湖南市)、もみじ・あざみ創造の森美術教室開設。</p> <p><海外視察> 1979 米国美術教育視察、1994～95 イタリア美術教育視察、2006 イタリアローマ福祉協会、Comunita di Sant' Egidio 訪問、2017 イタリア レッジョ・エミリア市ローリス・マラグツツイ・センター訪問。</p> <p><その他> 芸術療法授業実践：児童養護施設遥学園児童との交流、社会福祉法人天神の杜特別養護老人ホーム入居者との交流とクリスマスツリー制作、近畿大学付属病院小児科病棟壁画制作指導。</p>
<p>《Bコース》5月 (コーディネーター) 《Bコース》2月</p> <p>張 貞京 (ちゃん ちょんきょん)</p>	<p>京都文教短期大学講師、大木会相談員、京都市保育園連盟 障害児保育巡回相談員、京都府・大阪府などで乳幼児健診の相談員を経験</p> <p><経歴> 京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程修了。大木会相談員として利用者の発達診断や職員の指導相談を支援。現在、大木会もみじ・あざみ・一麦で発達保障職員研修会講師。</p>
<p>《Bコース》7月</p> <p>市川 忠稔 (いちかわ ただとし)</p>	<p>滋賀県健康医療福祉部健康福祉政策課長</p> <p><経歴> 1985年4月滋賀県庁に入職。共済年金、障害者福祉、生活保護、高齢者福祉、緊急雇用対策、障害者雇用、介護保険などの仕事を担当。2009年4月から3年間は、滋賀県社会福祉協議会で福祉人材センターを担当し、2年間事務局次長、福祉用具センター所長として勤務。2015年4月から2017年3月まで障害福祉課課長。社会福祉士。</p>
<p>《Bコース》9月</p> <p>川北 清満 (かわきた きよみつ)</p>	<p>株式会社シガ技研 代表取締役社長</p> <p><経歴> 立命館大学理工学部卒業、株式会社シガ技研経営者、社会福祉法人椎木会理事、特定非営利法人きらら理事、社会福祉法人さわらび福祉会後援会長、湖南ロータリークラブ会員、大木会理事。</p>
<p>《Bコース》10月</p> <p>山崎 正策 (やまざき しょうさく)</p>	<p>重症心身障害児施設びわこ学園 理事長、大木会評議員、</p> <p><経歴> 京都府立医科大学医学部医学科卒業。滋賀医科大学医学部大学院進学。彦根中央病院小児科勤務、滋賀医科大学小児科講師、国立療養所紫香楽病院小児科医長、近江八幡市民病院小児科部長を経て、1993年4月から重症心身障害児施設第二びわこ学園園長、2003年6月から社会福祉法人びわこ学園理事長。ドキュメンタリー映画「わたしの季節」制作。</p>
<p>《Bコース》11月</p> <p>信田 敏宏 (のぶた としひろ)</p>	<p>国立民族学博物館教授</p> <p><経歴> 1968年 東京都生まれ。東京都立大学大学院社会科学部科学研究科社会人類学専攻博士課程単位取得退学。博士 (社会人類学)。専門は社会人類学・東南アジア研究。著書に『「ホーホー」の詩ができるまで——ダウン症児、こころ育ての10年』(2015年、出窓社)、『ドリアン王国探訪記——マレーシア先住民の生きる世界』(2013年、臨川書店) など。</p>

<p>《Bコース》12月</p> <p>西山 厚 (にしやま あつし)</p>	<p>帝塚山大学文学部文化創造学科教授</p> <p>＜経歴＞徳島県鳴門市生まれの伊勢育ち。京都大学大学院文学研究科博士課程修了。奈良国立博物館で学芸部長として「女性と仏教」など数々の特別展を企画。主な著書に「仏教発見！」「僧侶の書」「語りだす奈良 118の物語」など。奈良と仏教をメインテーマとして、人物に焦点をあてながら、さまざまなメディアで、生きた言葉で語り、書く活動を続けている。あざみ寮（現あざみ、滋賀県湖南市の入所型知的障害者支援施設）の人たちに話をした体験が「仏教発見！」に収められている。</p>
<p>《Bコース》3月</p> <p>若林 忠彦 (わかばやし ただひこ)</p>	<p>国立大学法人滋賀大学社会連携研究センター客員教授</p> <p>＜経歴＞同志社大学経済学部卒業。1970年4月滋賀銀行入行、支店勤務、人事部、支店長など勤務の後、しがぎんリース・キャピタル専務取締役。</p> <p>2011年7月から国立滋賀大学産業共同研究センター特任教授、2016年4月から国立滋賀大学社会連携研究センター客員教授。中小企業診断士、社会保険労務士、金融関連財務・法務・税務・FP他 経営コンサルタントなど。社会福祉法人大木会 監事。</p>